

思い出

写真館

太鼓まつり

八幡が町から市になった当時の思い出を、写真を交えながら連載で紹介いたします。

八幡の夏の風物詩となっている高良神社の例祭「太鼓まつり」。その始まりは天明年間(1781~1789年)までさかのぼり、当時は神社前にちようちんを並べ、お茶屋を開いて参拜者をもてなすといったものでした。文政年間(1818~1830年)に入り、町ごとに大きな屋形太鼓が造られるようになり、太鼓を打ち鳴らしながら練り歩く姿に発展しました。戦後になり休止された時期もありましたが、ふるさと意識の高まりから各区

で次々と復活し、現在では屋形太鼓を保存する一区、二区、三区、六区で構成する太鼓まつり連絡協議会がまつりを実施。また、例年7月18日に行われていた各区の屋形太鼓が神社に集う「宮入り」は、平成26年から「海の日」の前日に変更し、毎年の統一宮入りを実現しました。多くの観衆が境内に詰めかける中、屋形太鼓を威勢よく揺さぶりながら参道を練り歩く担ぎ手たち。その姿は今も八幡のまちに熱気を与えてくれています。



当時の太鼓まつり
現在の太鼓まつり

◆問い合わせ 秘書広報課

市制施行40周年

記念事業 多彩に

市は、昭和52年(1977年)の市制施行から、11月1日で40周年を迎えます。この記念すべき年を皆さんとともに祝うため、記念式典を行うほか、さまざまなイベントを予定しています。詳しい情報は決まり次第ご案内しますので、ぜひ、ご参加ください。

八幡市市制施行40周年記念事業一覧

実施日	イベント名	場所	問い合わせ
8月4~6日(金~日)	淀川三川ふれあい交流事業 七夕まつり	さくらであい館 背割堤	管理・交通課
8月4~6日(金~日)	淀川三川ふれあい交流事業 竹灯籠設置	背割堤	学校教育課
8月5日(土)	淀川三川ふれあい交流事業 マイラン村とのSkype交流	さくらであい館	市民協働推進課
10月9日(月・祝)	Chazz in 石清水八幡宮	石清水八幡宮境内	政策推進課
10月28・29日(土・日)	第45回八幡市民文化祭	文化センター等	社会教育課
10月29日(日)	やわた農業まつり	分庁舎前	農業振興課
11月1日(水)	八幡市市制施行40周年記念式典	文化センター	総務課 秘書広報課
11月5日(日)	第45回八幡市民文化祭記念事業	文化センター	社会教育課
11月5日(日)	消防団市長査閲	市民スポーツ公園	消防総務課
11月12日(日)	第19回音の祭典inYAWATA	文化センター	社会教育課
11月30日(木)	NHK番組「歌う!SHOW学校」 公開収録	文化センター	総務課
12月3日(日)	八幡市民マラソン	市民スポーツ公園他	社会教育課
-	Instagramで「#やわふおと」キャンペーン	-	秘書広報課

カウントダウン

出演者募集 家族や仲間と盛り上げよう

市制施行40周年を迎えるにあたり、市ホームページやInstagram、市公式アカウントでカウントダウンを実施します。家族や友だち、サークル仲間と一緒に40周年を盛り上げましょう。
募集期間 7月1日(土)~7月31日(月)
対象 市内在住・在学・在勤の個人または団体
定員 先着15組程度(定員に達し次第終了)
応募方法 代表者氏名、住所(所在地)、電話番号を記載し、秘書広報課(hisyo@b-city.yawata.kyoto.jp)へメールしてください。※10人以上の団体は、事前にご相談ください。※出演決定者には、別途ご連絡いたします。その後、各自で写真の撮影等をお願いいたします。

市制施行40周年を迎えるにあたり、市ホームページやInstagram、市公式アカウントでカウントダウンを実施します。家族や友だち、サークル仲間と一緒に40周年を盛り上げましょう。
募集期間 7月1日(土)~7月31日(月)
対象 市内在住・在学・在勤の個人または団体
定員 先着15組程度(定員に達し次第終了)
応募方法 代表者氏名、住所(所在地)、電話番号を記載し、秘書広報課(hisyo@b-city.yawata.kyoto.jp)へメールしてください。※10人以上の団体は、事前にご相談ください。※出演決定者には、別途ご連絡いたします。その後、各自で写真の撮影等をお願いいたします。

Instagramで「#やわふおと」キャンペーン

「あなたの好きな八幡」「日常の何気ない一コマ」など、市内で撮影した写真をどしどし投稿してください。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

◆問い合わせ 秘書広報課

淀川三川ふれあい交流事業/市制施行40周年記念

七夕まつり

8月4日(金)~6日(日)

桂川・宇治川・木津川の三川が合流する淀川河川公園背割堤地区およびさくらであい館において、淀川三川ふれあい交流事業「市制施行40周年記念七夕まつり」を開催します。

開催期間中、園路に笹飾りを並べ、ライトアップします。また、5日(土)は各種イベントを実施します。
日時 8月4日(金)~6日(日)午後6時~8時
※5日(土)は午前9時~午後8時。
内容 ▼友好都市であるマイラン村と市の子どものためのSkype(スカイプ)交流 ▼自転車に関する講習会 ▼市内の観光名所を巡る周遊スタンプラリー ▼リスボン上田さんによるジャグリングショー ▼男山第三中学校吹奏楽演奏 ▼八幡今昔メモリアルビデオ・メッセージ紹介 ▼小学生による竹灯籠の設置 ▼水辺体験イベントなど。子どもから大人まで楽しめる催しを予定しています。

各イベントの詳細については、広報やわた8月号に掲載します。皆さん、ぜひご来場ください。

◆問い合わせ 管理・交通課

お茶の京都博 10・11月のEVENT

『Chazz in 石清水八幡宮』
日時 平成29年10月9日(月・祝)
お茶(Cha)とジャズ(Jazz)を融合させた「新たなお茶の楽しみ方」を提案するイベント。国宝石清水八幡宮を舞台に、八幡市産のお茶をいただきながら、関西で活躍するアーティストのジャズ演奏を楽しめます。
問い合わせ先:八幡市政推進課 075-983-1004

『宇治茶世界文化遺産シンポジウム』
日時 平成29年11月12日(日)午前10時~12時30分
場所 同志社大学 京田辺キャンパス 恵道館 KD201
【講演】テーマ「お茶と世界遺産」 裏千家大宗匠・千玄室氏
【トークセッション】宇治茶と京都文化(仮) パネリスト:熊倉功夫氏、金田幸裕氏 ほか
【呈茶】抹茶ほか

お問合せ 京都府茶業振興委員会事務局(京都府企画理事付) 075-414-4529
詳細は「お茶の京都博」HPへ! (ochanaku.kyoto)



都々城茶生産組合長 松田雅宣さん

碾茶もっとPR

都々城茶生産組合長の松田雅宣さんにお話をうかがいました。
●茶摘みを終えて
大きな事故もなく終えられ、ホッとしています。今年は天候に恵まれ、珍しく休むことなく作業が進みました。朝晩の気温が低く、茶葉の品質も終盤までいい感じでした。
●八幡の碾茶(碾茶)
現在、18の茶農家が16畝で栽培しています。生産量としては約24ト。色が濃く、高級抹茶として飲まれています。

「お茶の京都博」の開催にあわせ、お茶に関連した話題を平成30年2月号まで連載します。第4回は、「茶農家に聞く」です。

お茶で一服

茶農家に聞く

りました。茶園では、わらで編んだ「こも」をかぶせるなど、大変な作業をしていました。
昭和50年代と比べると技術が進歩して作業が効率的になった面もありますが、今は、お茶の価格低下、茶農家の高齢化による後継者問題、摘み取り不足などへの対応が必要になっていきます。こんな中、手摘みからハサミ摘みに変わる茶農家もあります。
●お茶の京都博について
お茶を大々的にPRしていただくことは有難いです。また、身近なことでは、「京都やましろ茶いぐるライン(堤防上)」は茶摘みの作業路でもあるので、利用者に注意を払う必要があるとも考えています。
●今後について
市産の碾茶をもっとPRしたいですね。最近では若手10人で構成する碾茶研究会が新しいことを発案してくれるなど、新しい風が吹き始めているのを感じます。若い力とともに、伝統・文化を守りながら、10年先も荒廃地にならないよう、うまく運営していきたいです。

◆問い合わせ 秘書広報課